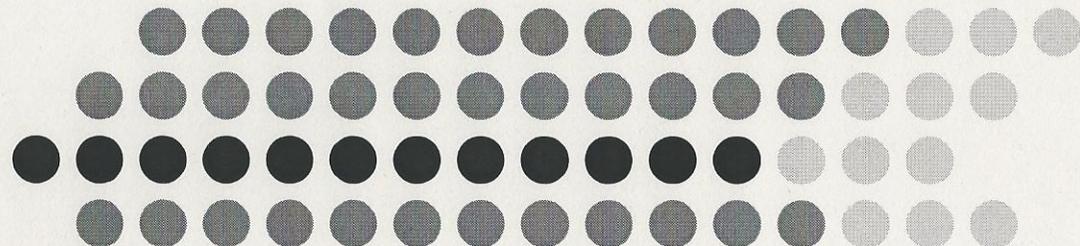


島根県社会福祉士会基礎研修

社会福祉士会の
生涯研修制度について

島根県社会福祉士会
基礎・共通基盤研修委員会





生涯研修制度の意義と目的





社会福祉士法及び介護福祉士法

(資質の向上の責務)

第47条の2 社会福祉を取り巻く環境の変化による業務内容の変化に適応するため、相談援助に関する知識及び技術の向上に努めなければならない。



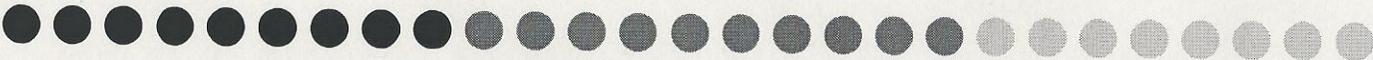


社会福祉士の倫理綱領（抜粋）

4. 専門職としての倫理責任

社会福祉士は、最良の実践を行うために、
スーパービジョン、教育・研修に参加し、
援助方法の改善と専門性の向上を図る。





社会福祉士の行動規範（抜粋）

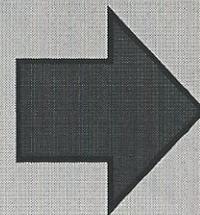
5-1 社会福祉士は、研修・情報交換・自主勉強会等の機会を活かして、常に自己研鑽に努めなければならない。

5-2 社会福祉士は、常に自己の専門分野や関連する領域に関する情報を収集するよう努めなければならない。

5-3 社会福祉士は、社会的に有用な情報を共有し合い、互いの専門性向上に努めなければならない。

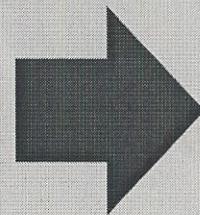


社会福祉士として、
「専門性の維持・
向上」に努めること



社会福祉士の
責務

会員一人ひとりの
力量を高めていくと



社会福祉士会
の責務

生涯研修制度

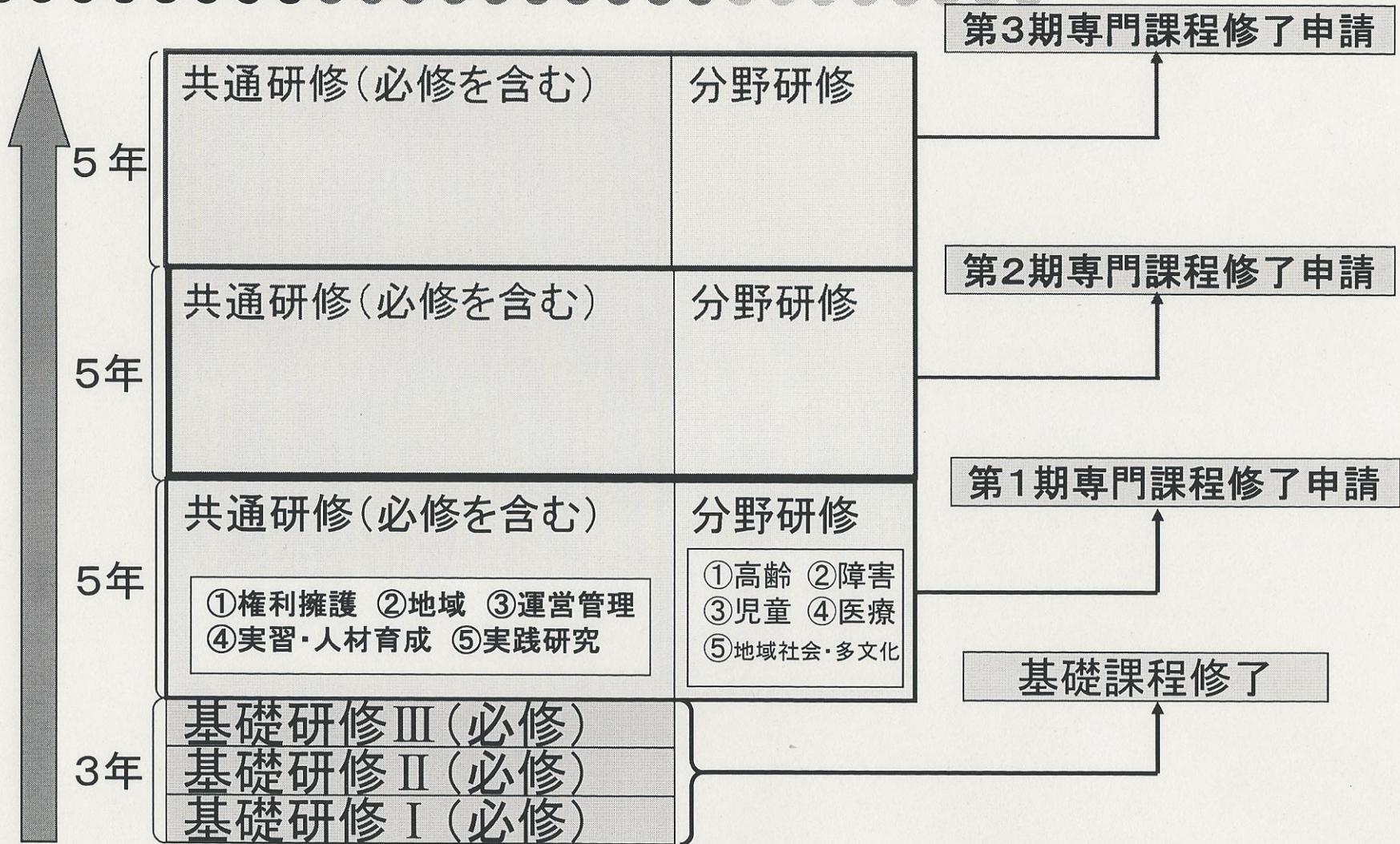




新生涯研修制度の概要

2011度から新しい生涯研修制度に変わりました！







今年度までの入会者は、
経過措置により
旧生涯研修制度での申請が可能。

※経過措置を選択せず、新基礎課程から始めることもできます。





旧生涯研修制度による 申請方法





旧生涯研修制度の概要

基礎研修課程

新入会員のための基礎的な力量を高めていくための課程(今日の研修)。

共通研修課程

社会福祉士として共通に必要な事項・力量をつけていく課程。3年間で60単位以上の取得が必要。

専門分野別研修課程

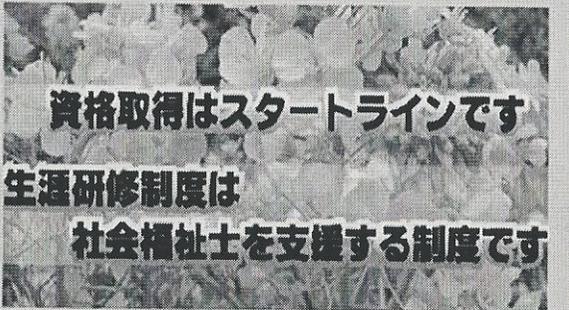
社会福祉士として関わる分野を深めていく課程。



共通研修課程の詳細

研修方法		認定単位
形態	概要	
集合研修	予め定められた会場に集合して行う研修。本会や支部が主催する研修のほか、他団体が主催する研修も含む	3年間で上限はありません。 1. 1回の研修が5時間未満…1時間1単位 2. 1回の研修が1日（5時間以上）…5単位 3. 1回の研修が2日間…10単位 4. 1回の研修が3日以上…15単位
実習研修	施設等で実習形態で行う研修	集合研修に準じる。ただし、3年間で30単位が上限。※社会福祉士が実習指導を行うこと。
グループ研修	会員がグループで行う研修	3年間で15単位が上限です。
自己研修	自宅において個人で行う研修等 (職場から派遣された講師等もOK)	3年間で15単位が上限です。 1. 各種文献や教材により自宅等で行うもの。 2. 通信教育等を活用して自宅等で行うもの。 3. 大学院での研究活動（修士、博士課程） 4. 各種研修会での社会福祉士としての講師 5. 各種学会での研究発表 6. 論文等執筆 7. 海外での研修 8. 大学通学や資格取得のための講義の受講
その他の研修	研修スタッフとしての活動	自己研修に準じる。3年間で15単位が上限です。

Ⓢ 社団法人 日本社会福祉士会 生涯研修センター

<ul style="list-style-type: none"> 生涯研修制度とは 生涯研修センターとは 生涯研修制度の成立と 共通基盤の意義 	<p>各項目の説明を表示します。</p>	<p>更新情報</p>								
<p>2010年度申請のご案内</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請についてのお知らせ 共通研修課程修了申請 専門分野別研修課程 認定申請 「社会福祉士生涯研修手帳」 書式ダウンロード 	 <p>資格取得はスタートラインです 生涯研修制度は 社会福祉士を支援する制度です</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本社会福祉士会主催 他団体主催・本会共催 都道府県社会福祉士会 主催研修情報 社会福祉士共通基盤研修 								
<ul style="list-style-type: none"> 2007年度 本会主催研修実績一覧表 2008年度 本会主催研修実績一覧表 2009年度 本会主催研修実績一覧表 	<p>各種研修情報、日本社会福祉士会主催研修の単位数一覧、日本社会福祉士会主催研修の修了者受講者番号の一覧などを順次掲載しています。</p>	<p>〈地域別〉</p> <table border="1"> <tr> <td>北海道</td> <td>東北</td> </tr> <tr> <td>関東・甲信越</td> <td>東海・北陸</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>中国</td> </tr> <tr> <td>四国</td> <td>九州・沖縄</td> </tr> </table> <p>●生涯研修センターお問い合わせ先</p>	北海道	東北	関東・甲信越	東海・北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄
北海道	東北									
関東・甲信越	東海・北陸									
近畿	中国									
四国	九州・沖縄									

記入例

様式第1号

集合研修参加単位記録《基礎研修も記入すること》

実施年月日	研修の名称	主催団体	プログラム内容	単位
平成23年5月19日	「施設ケアネージャー」キルアップ研			5
平成23年6月4日～5日	第19回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉学会 (京都大会)	日本社会福祉士会	シンポジウム 「震災支援活動における社会福	10
平成23年6月18日	会員研修	島根県社会福祉協議会		1
平成23年7月2日	基礎研修	社団法人島根県社会福祉協議会	社会福祉士の活動について	修了

1回の研修が5時間以上
= 5単位

1回の研修が
2日間=10単位

1回の研修が5時間未満
= 1時間1単位

基礎研修は「修了」
と記入します。



新生涯研修制度の詳細については未定な部分が多いです。

今後詳細が決定されると、

「日本社会福祉士会ニュース」

「生涯研修センターニュース ぴっと」

でお知らせがありますので、確認してください。

